

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 4 赤城山レーダ雨量計精度検証業務
業 務 概 要	本業務は、令和3年度に更新とあわせてMP化した赤城山レーダ雨量計について、雨量算定定数や雨量推定精度等の検討を行い、観測データの精度・品質向上を図るものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 若林 伸幸 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和4年 5月25日
契 約 業 者 名	一般財団法人河川情報センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都 千代田区麴町一丁目3番地ニッセイ半蔵門ビル
契 約 金 額	¥9,933,000円(税込み)
予 定 価 格	¥9,933,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務は、令和3年度に更新とあわせてMP化した赤城山レーダ雨量計について、雨量算定定数や雨量推定精度等の検討を行い、観測データの精度・品質向上を図るものである。 本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、雨量算定定数の検討方法について技術提案を求め、簡易公募型に準じたプロポーザル方式(拡大型)により選定を行った。 一般財団法人河川情報センターは、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 4年 5月26日
履 行 期 間 (至)	令和 4年12月28日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。